



注意:

性能を最大限に発揮させるため、このペレットヒーターには、熱出力と燃焼効率に優れた針葉樹、またはペレットストーブの木質ペレットを使用することを強くお勧めします。
薪ストーブ用ペレットには、マツ、トウヒ、モミ、スギなどがあります。BBQ用や食品用のペレットも使用できますが、熱出力は低くなります。

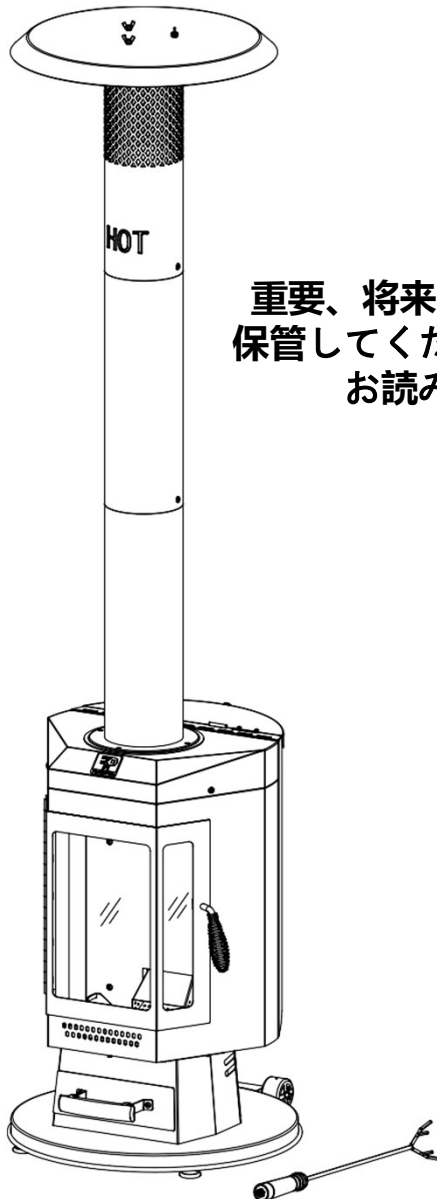


FLAMEPRO®

ペレットパティオヒーター

ITM. / ART. 1713430

モデル # 14365



重要、将来の参考のために
保管してください：注意深く
お読みください



⚠ 警告

このヒーターや他のペレットパティオヒーターの近くで、ガソリンやその他の可燃性の蒸気や液体を保管したり、使用したりしないでください。

⚠ 警告

本製品は屋外での家庭用の使用のみを目的としています。
業務用ではありません。

⚠ 警告

不適切な設置、調整、改造、修理、メンテナンスは、怪我や物的損害の原因となります。この機器を設置または修理する前に、取扱説明書をよくお読みください。本取扱説明書に記載されている情報が正確に守られていない場合、火災や爆発が発生し、物的損害や人身事故を引き起こす可能性があります。

設置者様：この取扱説明書を本機器と一緒に置いてください。

一酸化炭素の危険

本機器は、臭いのない一酸化炭素を発生することがあります。密閉された空間で使用すると、死亡する恐れがあります。キャンピングカー、テント、車、家などの密閉された空間では絶対に使用しないでください。

ご質問やご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください：
フリーダイヤル: 1-877-447-4768 | 月 - 金, 9:00 am - 5:30 pm (米国東部標準時間)
翻訳サービスにより、すべての言語に対応しています。
Eメール: customerservice@ghpgroupinc.com | ウェブサイト: www.ghpgroupinc.com

取扱説明書<和訳>

安全性に関する情報

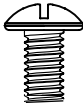
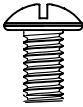
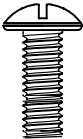



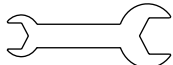
本機を組み立てたり操作したりする前に、このガイド全体を注意深くお読みください。これを怠ると、火災、爆発、けが、死亡の原因になることがあります。

- **屋外専用です！**このペレットヒーターは、屋外の風通しの良い場所でのみ使用し、建物内、ガレージ、その他の密閉された場所では使用しないでください。
- 使用中または熱い間は、ヒーターに触れようとしないでください。炎によりハンドルが熱くなっている場合があります。
- ガソリン、灯油、ディーゼル燃料、ライター液、アルコールなどを入れて再点火したり、炎を強くしたりしないでください。
- 過度の熱は構造の整合性を損なう恐れがあります。再点火に使用する方法は、マッチまたはライターのみです。再点火に可燃性燃料を使用しないでください。
- ペレットヒーターに炭やその他の固形燃料を絶対に使用しないでください。
- 一酸化炭素ガスの危険があるため、室内で使用しないでください。換気不足は死亡の原因になります。
- このペレットヒーターは木質ペレット(暖房用または調理用)の燃焼用のみに設計されています。木炭、処理済みの薪、その他の材料は絶対に使用しないでください。
- ペレットヒーターの燃焼中に水を入れないでください。サビの原因となります。
- ペレットヒーターを使用する前に、地域の条例を確認してください。
- 点火したペレットヒーターを絶対に放置したままにしないでください。
- 保護されていない可燃性構造物の下で使用しないでください。可燃性の表面は、ペレットヒーターのすべての側面から少なくとも4フィート (1.21 m) 離してください。ヒーターの上部、背面、側面から4フィート (1.21 m) 以内に可燃物を置かないでください。
- このペレットヒーターの使用には、保護手袋と柄の長い道具の使用をお勧めします。使用中にペレットを手でホッパーに入れると、重傷を負う恐れがあります。炎が消えた場合は、本体が完全に冷えてからホッパーにペレットを入れ直し、使用を再開してください。
- 梱包材は適切に廃棄してください。
- ペレットヒーターをウッドデッキやその他の可燃性の表面で使用しないでください。
- この暖房器具はプラスチックや人工木材のデッキでは使用しないでください。
- ペレットヒーターは使用後しばらく非常に熱いままです。
- ペレットヒーターを移動する際は、完全に冷めてから行うようにしてください。
- 使用には細心の注意を払い、自己責任で行ってください。
- ペレットヒーターを完全に組み立て、全部品が所定の位置にない限り、操作しないでください。
- このペレットヒーターを調理に使用しないでください。
- 衣類やその他の燃えやすい材料をペレットヒーターの上や近くに置かないでください。
- ペレットヒーターが完全に冷えるまで、ペレットヒーターカバーや燃えやすいものをペレットヒーターの上、下、周囲に置かないでください。
- 使用者は表面温度が高いことの危険性を認識し、火傷や衣服への引火を避けるため、安全な距離を保ってください。
- 使用中または熱い間は、絶対にヒーターの上に手や指を置かないでください。
- ペレットヒーターが完全に冷めるまで、扱わないでください。
- 高温のペレットヒーターにお子様を近づけないでください。
- 小さなお子様がペレットヒーターと同じ場所にいる場合は、注意深く監督してください。

安全性に関する情報

- ・お子様は絶対に本機を操作しないでください。
- ・お子様も大人の方も、表面が高温になることの危険性を認識し、火傷や衣服への引火を避けるため、近づかないでください。
- ・本機は強風で転倒する恐れがあります。
- ・使用しない時は、完全に冷めてから本体にカバーをかけてください。
- ・クレオソートの堆積に関する警告: 燃やされた木質ペレットは、自然にタールやその他の有機蒸気を発生させ、クレオソートを形成します。使用后、煙突や本体内に残留物が蓄積することがあります。引き続き安全に使用するために、事前に専門家による清掃と除去が必要です。
- ・ペレットヒーターを修理するために取り外したガードやその他の保護装置は、ペレットヒーターの運転前に元に戻してください。
- ・安全な最大燃料容量: 約 8.2 kg / 18 lbs.

金具

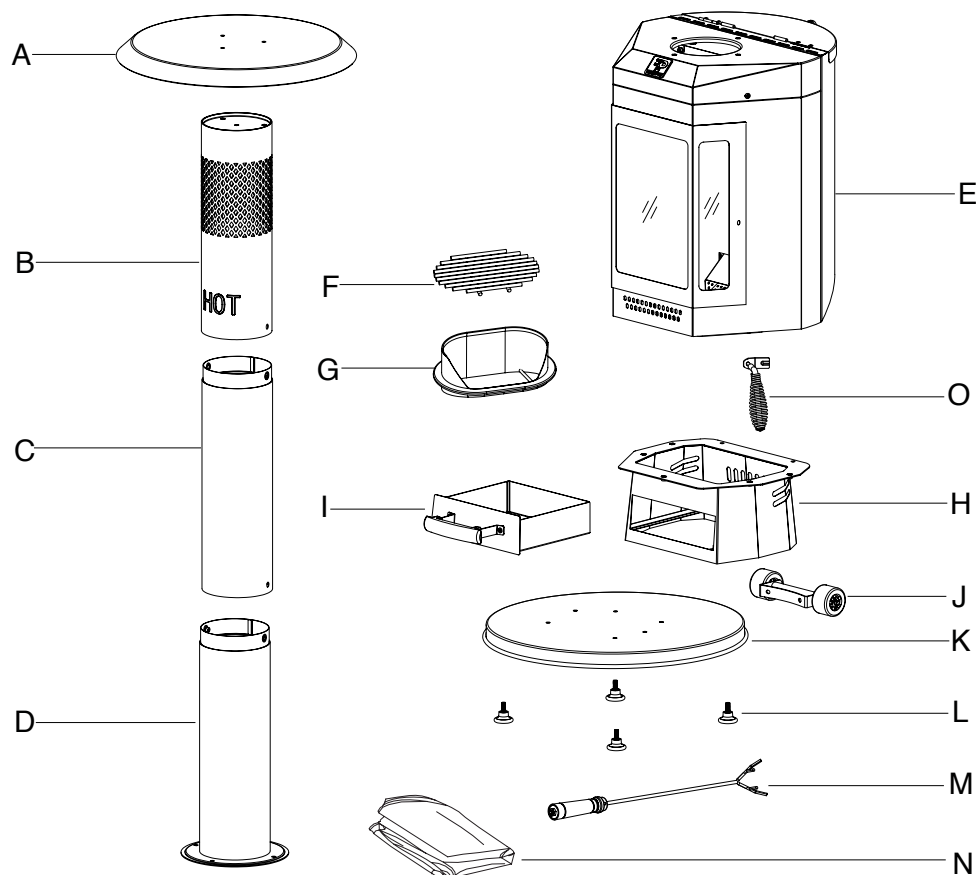
						
AA	BB	CC	DD	EE	FF	GG

品目	説明	数量
AA	M6x12 ネジ	13
BB	M6x12 ネジ (ステンレス鋼)	2
CC	M6x20 ネジ	2
DD	M6 ナット	2
EE	M6x40 ネジ	4
FF	蝶ネジ	3
GG	レンチ	1

製品の組み立てを始める前に、すべての部品が揃っていることをご確認ください。部品をパッケージの内容物リストおよび金具の内容物リストと比較してください。部品が欠けていたり破損している場合は、この製品を使用せず、直ちにカスタマーサービスにご連絡ください。情報については表紙をご覧ください。

組み立てに必要な工具: レンチ (付属) とプラスドライバー (付属していません)

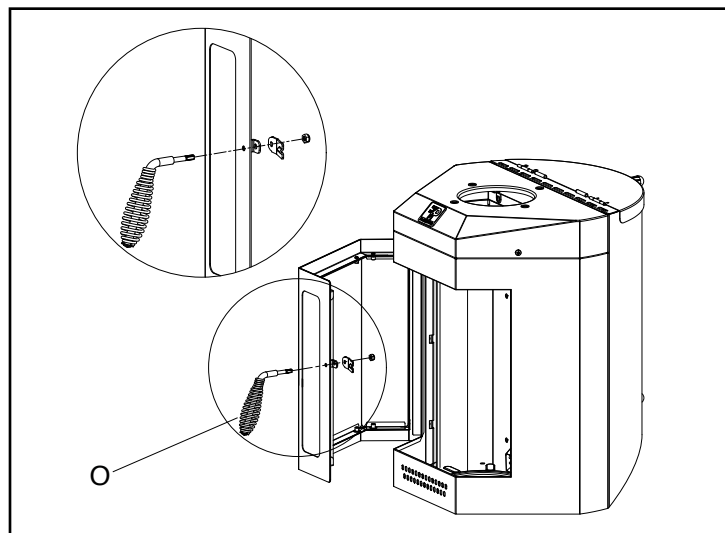
内容物



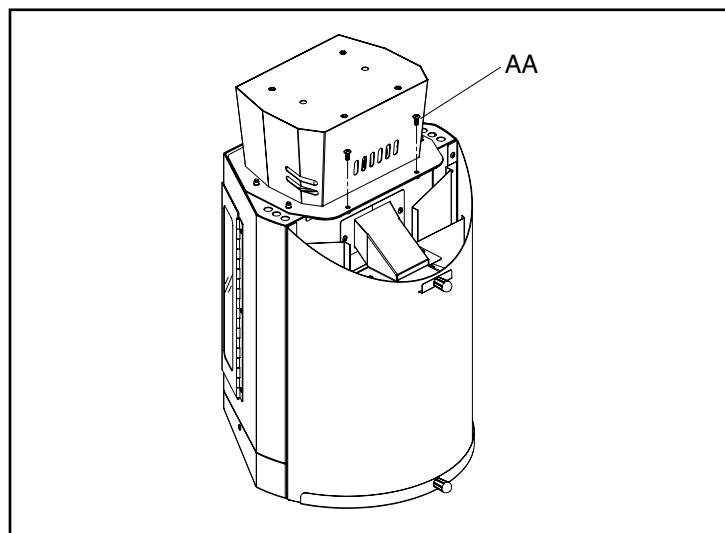
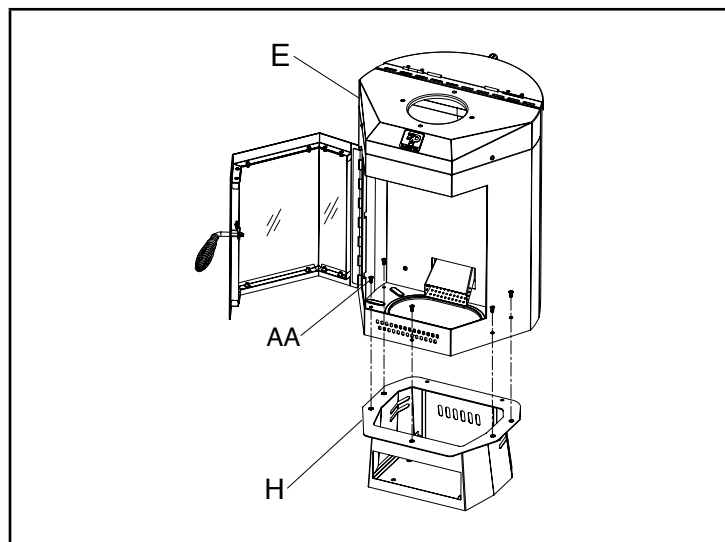
項目	説明	数量
A	反射器	1
B	煙突上部	1
C	煙突中部	1
D	煙突下部	1
E	ヒーター本体	1
F	火格子	1
G	ファイヤーポット	1
H	ヒーター土台	1
I	灰皿	1
J	キャスター	1
K	ボトムベース	1
L	脚	4
M	火かき棒	1
N	保護カバー	1
O	ドアハンドル	1

組み立て手順

1. ドアハンドル (O) からロックナットとラッチを外します。ドアハンドルをドアの穴に差し込み、ラッチを取り付けてロックナットで締めます。

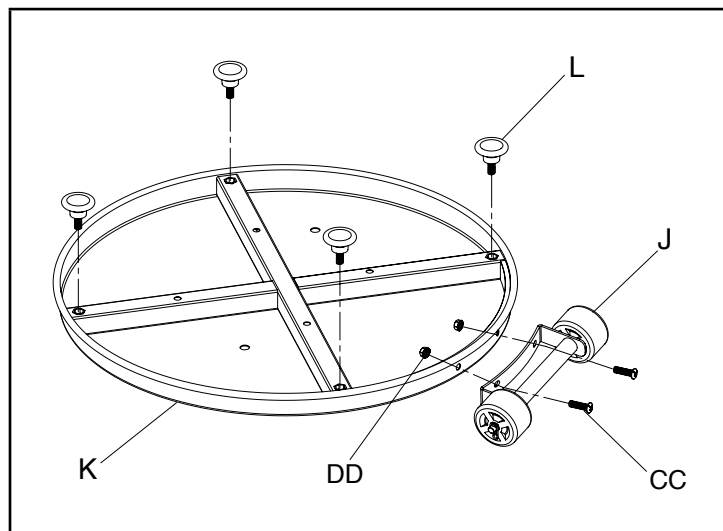


2. ヒーター本体(E) をヒーター土台(H) に M6x12 ネジ (AA) 7本で取り付けます。

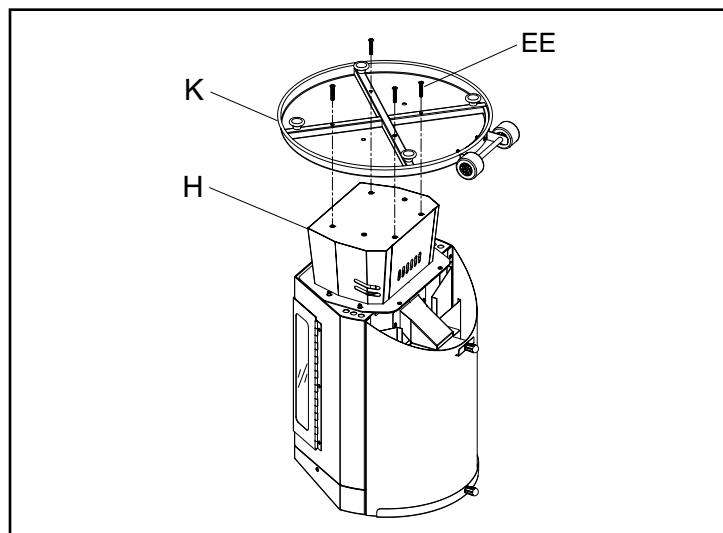


組み立て手順

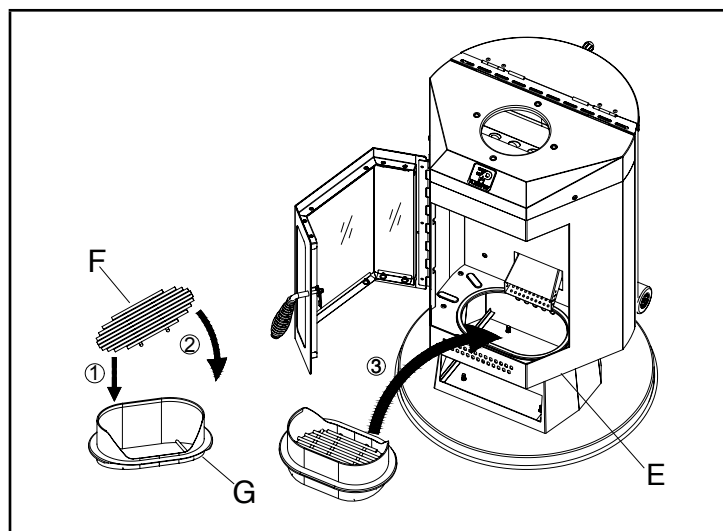
3. 脚 (L) 4 個をボトムベース (K) にねじ込み、M6x20 ネジ (CC) 2 個と M6 ナット (DD) 2 個を使用してキャスター (J) をボトムベース (K) に取り付けます。



4. M6x40 ネジ (EE) 4個を使用して、ボトムベース (K) をヒーター土台 (H) に取り付けます。

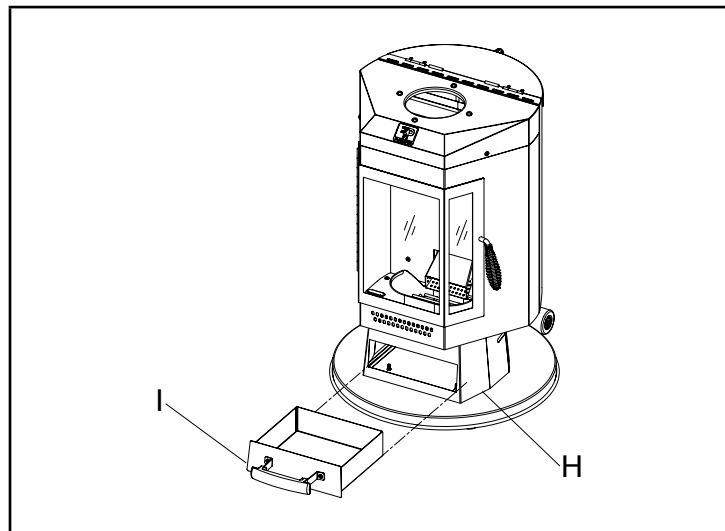


5. 火格子 (F) をファイヤーポット (G) に入れ、次にファイヤーポットをヒーター本体 (E) に入れます。

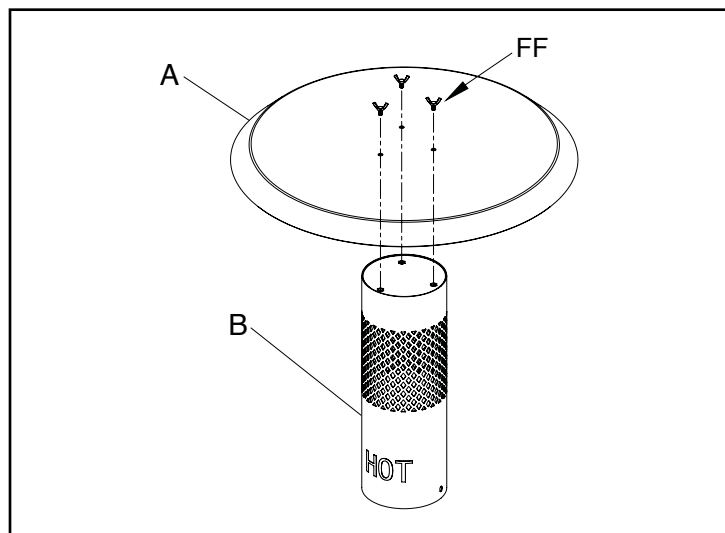


組み立て手順

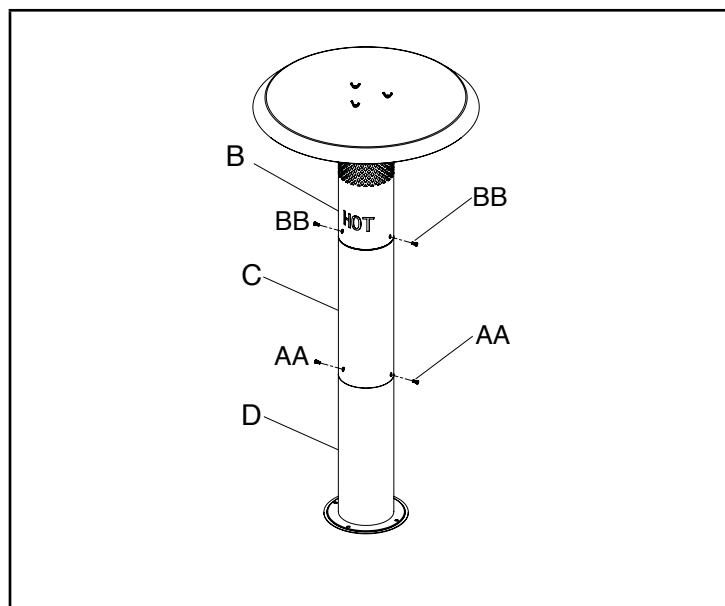
6. 灰皿 (I) をヒーター土台 (H) に挿入します。



7. 蝶ネジ (FF) 3 本を使用して、反射器 (A) を煙突上部 (B) に取り付けます。

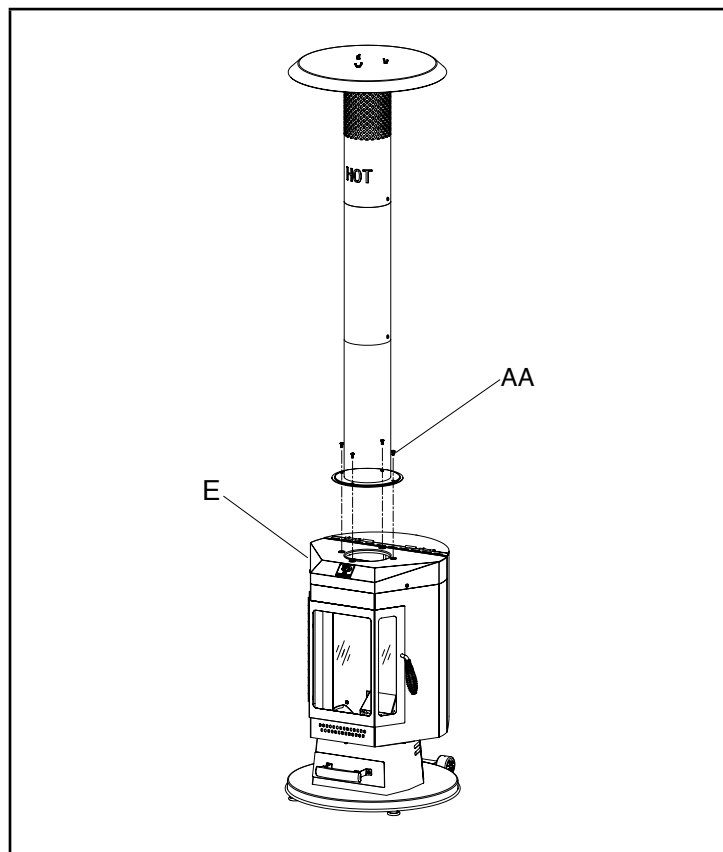


8. 煙突上部 (B)、煙突中部 (C)、煙突下部 (D) を M6x12ネジ (BB) 2 本と M6x12ネジ (AA) 2 本を使用して取り付けます。

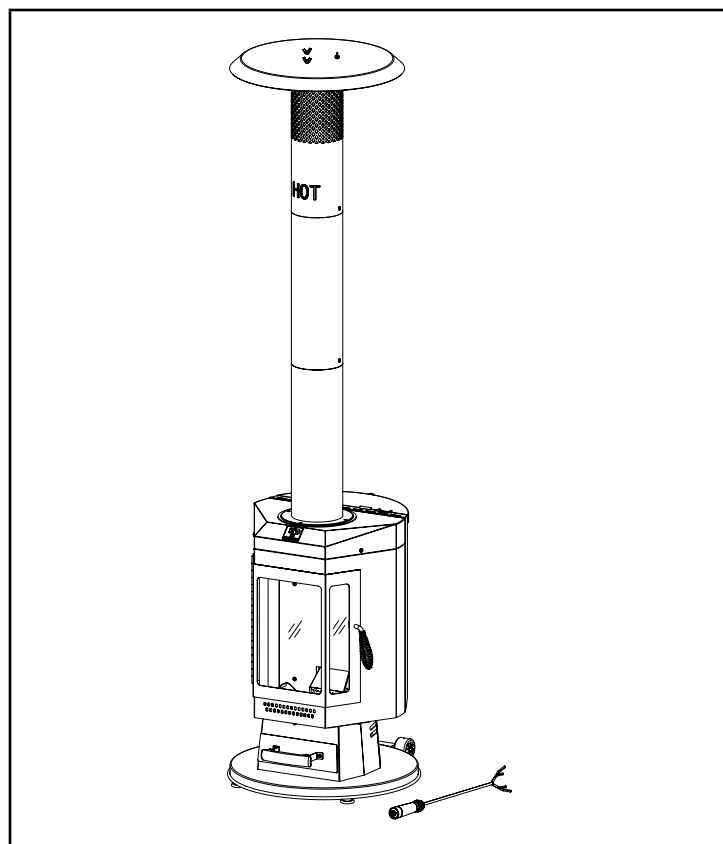


組み立て手順

9. 組み立てた煙突をヒーター本体(E)にM6x12ネジ(AA)4本を使用して取り付けます。

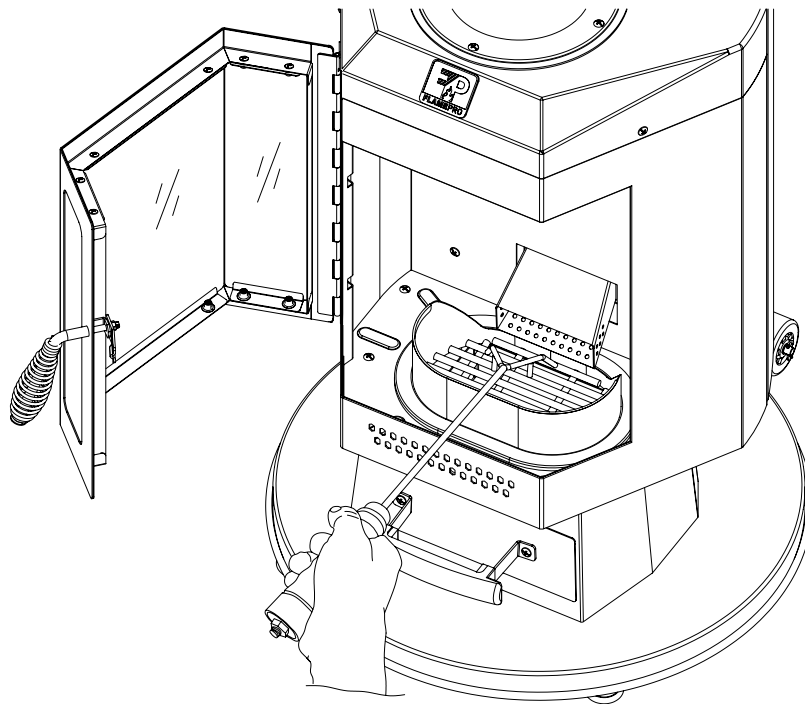


10. これでペレットパティオヒーターの使用準備は完了です。



操作

1. ヒーターが正しく組み立てられていることをご確認ください。
2. シャットオフゲートを押し込みます。
3. ホッパーにペレットを入れます。この時点では、シャットオフゲートが閉じているため、ペレットはファイヤーポットに落ちません。
4. ドアを開け、シャットオフゲートを完全に引き出します。これでペレットがファイヤーポットに落ちます。
5. 少量のライターオイルまたはジェルをペレットに吹きかけ、ボタンライターまたはマッチで点火し、ドアを閉めます。
6. ヒーターを使用するときは、ドアを閉めておいてください。ドアが開いていると、ヒーターに風が通らず、ペレットが正しく燃焼しません。
7. 最初の燃焼中、高温粉体塗装は硬化プロセスを経ます。硬化中、使用の最初の15分間は煙が出ます。これは正常で一時的なものです。
8. 数時間使用すると、ファイヤーポットの底に余分なペレットがたまる場合があります。ドアを開けて火かき棒でペレットをかき混ぜてください。**注意：ドアハンドルは熱くなっています！**この作業は、数時間使用した後に行うだけで、最大限の熱出力が得られます。



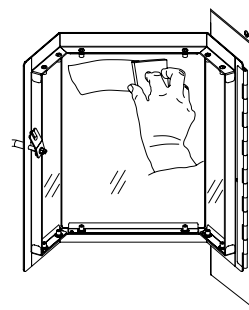
注意:

性能を最大限に発揮させるため、このペレットヒーターには、熱出力と燃焼効率に優れた針葉樹、またはペレットストーブの木質ペレットを使用することを強くお勧めします。
薪ストーブ用ペレットには、マツ、トウヒ、モミ、スギなどがあります。
BBQ用や食品用のペレットも使用できますが、熱出力は低くなります。

メンテナンス

- ・この屋外用ペレットパティオヒーターは、製品の安全性と長寿命を保証するため、定期的に点検してください。
- ・部品に損傷の兆候がないかチェックしてください。
- ・ペレットパティオヒーターは湿気を避け、涼しく乾燥した場所に保管してください。
- ・保管する準備ができたなら、重力送り装置の詰まりを避けるためにホッパーから残りの木材ペレットを取り除いて下さい。
- ・**クレオソートの堆積に関する警告。** 使用後、煙突や本体内に残留物が蓄積することがあります。クレオソートを除去し、引き続き安全にご使用いただくために、このモデルを継続して使用する前に専門家にご相談ください。
- ・**注意!** 燃焼後に残った灰は適切に処理してください。使用後の灰はまだ熱い場合がありますので、完全に冷めるまで、可燃物から離れた不燃性の容器に入れてください。完全に冷めたら廃棄できます。
- ・メーカーが承認または供給した交換部品および付属品のみをご使用ください。さもないと、本製品の保証が無効になったり、危険な状態になったりすることがあります。
- ・ペレットパティオヒーターは、**可燃物やゴミがないようにしてください。**
- ・外部の表面は中性石鹼と水で拭き取れます。

数回使用すると、ガラスにススが溜まることがあります。本体が完全に冷めたら、柔らかい綿の布、中性石鹼、水を使用して、炎がはっきり見えるように安全に掃除してください。



保証

本製品は、仕上がりや材質の製造上の欠陥に対して1年間の保証があります。次のような行為を行った場合、メーカー保証は無効となり、メーカーは一切の責任を負いません：

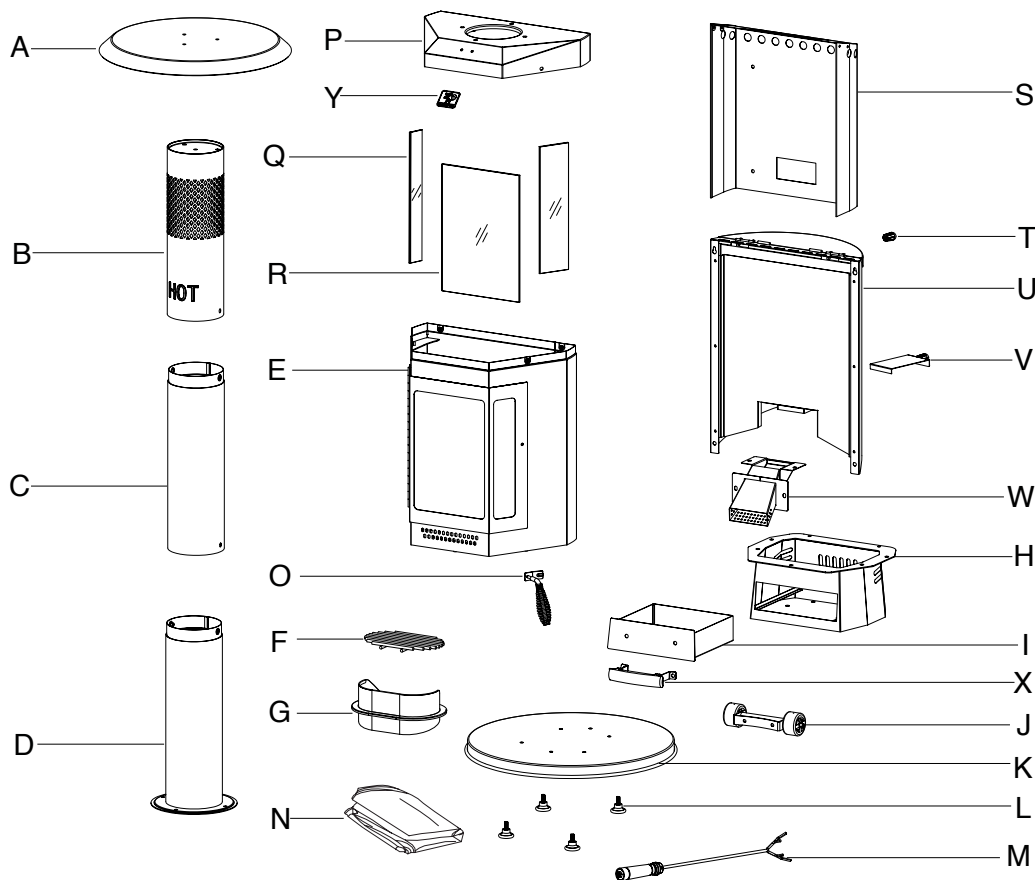
- ・本体および/または部品の改造。
- ・メーカーが製造または承認していない部品の使用。
- ・本取扱説明書に記載されている以外の使用や設置。交換部品についてはメーカーにお問い合わせください。

お問い合わせ

ご質問やご不明な点がございましたら、下記の連絡先よりメーカーにお問い合わせください：
翻訳サービスにより、すべての言語に対応しています。

フリーダイヤル	1-877-447-4768 月 - 金, 9:00 am - 5:30 pm (米国東部標準時間)
Eメール	customerservice@ghpgroupinc.com
ウェブサイト	www.ghpgroupinc.com

交換部品リスト



項目	説明	部品番号	項目	説明	部品番号
A	反射器	30-01-885	N	保護カバー	30-01-909
B	煙突上部	30-01-886	O	ドアハンドル組立部品	30-01-882
C	煙突中部	30-01-887	P	ヒーター本体カバー	30-01-910
D	煙突下部	30-01-888	Q	小ガラス	30-01-950
E	ヒーター本体組立部品	30-01-906	R	中ガラス	30-01-951
F	火格子	30-01-890	S	インナーシールド	30-01-875
G	ファイヤーポット	30-01-891	T	ホッパーふたノブ	30-01-878
H	ヒーター土台	30-01-907	U	ホッパー	30-01-879
I	灰皿	30-01-908	V	シャットオフゲート	30-01-880
J	キャスター組立部品	30-01-894	W	フィーダー	30-01-881
K	ボトムベース	30-01-895	X	灰皿ハンドル	30-01-911
L	脚	30-01-896	Y	バッジ	30-01-912
M	火かき棒	30-01-897	AA-GG	金具パック	30-01-913